

わけぎ

農薬取締法上、「ねぎ」、「わけぎ」、「あさつき」はそれぞれ別の作物である。

———— 発病・加害時期
 ===== 発病・加害最盛期

作型・病虫害名		月												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
普	通									▲	■			
		■		■						▲	■			
べ	と													
さ	び													
黒	斑													
シ	イ	チ	モ	ジ	ヨ	ト	ウ							
ネ	ギ	ハ	モ	グ	リ	バ	エ							
ネ	ギ	ア	ザ	ミ	ウ	マ								

べと病

留意事項

- 1 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。また、QoI剤(1 1)は耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 苗床の発病株を除去する。
- 3 被害株は早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 4 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) M5 【1000倍 14日/2回】
 - ・ [ランマンフロアブル](#) 2 1 【2000倍 3日/3回】
- 5 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 1 1 【2000倍 7日/4回】
 - ・ [アリエッティ水和剤](#) P7 【800倍 3日/3回】

さび病

留意事項

- 1 春期と秋期の2回、比較的低温で雨の多い時に発生が多い。
- 2 菌は土壤中で越冬する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- 3 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。また、QoI剤(11)は耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 被害株は早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 発病前から下記の薬剤を、予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) M5 【1000倍 14日／2回】
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 11 【2000倍 7日／4回】
 - ・ [オンリーワンフロアブル](#) 3 【1000倍 14日／3回】

黒斑病

留意事項

- 1 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。また、QoI剤(11)は耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 被害株は早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [ダコニール1000](#) M5 【1000倍 14日／2回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 11 【2000倍 7日／4回】
 - ・ [オンリーワンフロアブル](#) 3 【1000倍 14日／3回】
 - ・ [ロブラール水和剤](#) 2 【1000～1500倍 14日／3回】

シロイチモジヨトウ

留意事項

- 1 発生初期の防除を徹底する。
- 2 葉の内部へ潜り込む前に防除を行う。
- 3 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) 5 【5000倍 3日／3回】
 - ・ [アタブロン乳剤](#) 15 【2000倍 21日／3回】
 - ・ [マトリックフロアブル](#) 18 【1000～2000倍 7日／3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用时には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [アフーム乳剤](#) 6 【1000～2000倍 7日／3回】

ネギハモグリバエ

防除方法

- 1 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [アクタラ粒剤5](#) 4 A 【6kg／10a 作条混和 植付時／1回】
 - ・ [ベストガード粒剤](#) 4 A 【6kg／10a 植溝処理土壌混和 定植時／1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ダントツ水溶剤](#) 4 A 【2000～4000倍 3日／4回】
 - ・ [アグロスリン乳剤](#) 劇 3 A 【2000倍 3日／2回】
 - ・ [リーフガード顆粒水和剤](#) 劇 1 4 【1500倍 7日／2回】

ネギアザミウマ

留意事項

- 1 高温少雨の条件で多発する。
- 2 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [ダントツ粒剤](#) 4 A 【3～6kg／10a 株元散布 3日／4回】
 - ・ [アクタラ粒剤5](#) 4 A 【6kg／10a 作条混和 植付時／1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) 5 【アザミウマ類 2500～5000倍 3日／3回】
 - ・ [リーフガード顆粒水和剤](#) 劇 1 4 【1500倍 7日／2回】
 - ・ [アドマイヤーフロアブル](#) 劇 4 A 【アザミウマ類 2000～4000倍 3日／2回】
 - ・ [エルサン乳剤](#) 劇 1 B 【アザミウマ類 1000倍 14日／4回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。